



山王台だより10月号

令和4年9月30日

横浜市立山王台小学校

〒235-0016

横浜市磯子区磯子5丁目2-1

TEL:045(755)1107

【学校教育目標】自分のよさに気付き、相手の気持ちを大切にしながら、ともに高め合って生きる



今日の学びを明日に活かす

校長 遠藤 清美

朝晩は過ごしやすい気温になり、虫の音も聞こえ、秋の訪れを感じるようになりました。

秋の夜長には読書を楽しむという方もいらっしゃるでしょう。10月は全国の読書週間が始まります。今年度の標語は「この一冊にありがとう。」です。本校では10月24日(月)～11月4日(金)を読書週間とします。日頃あまり本を読まない児童にも本の世界を楽しんでもらえるよう、図書委員会がアイデアを出し合いイベントを企画しています。読書週間に合わせて、ご家庭でも本に親しむ時間を少しでも作っていただくと有難いです。本は「心の友達」。素敵な一冊に出会えることを願っています。

さて、9月にはいろいろな出前講座を実施しました。5、6年生は警察の方による「サイバー教室」を受けました。内容については、中頁に掲載しておりますのでご覧ください。4月に実施された全国学力・学習状況調査の結果で、ゲームやSNS・動画視聴時間と平均正答率とのクロス集計の分析では、「1日当たりゲームやSNS・動画視聴時間が長いほど、平均正答率が低い」傾向が見られました。今回の結果を踏まえて、学校では学習内容が定着するよう授業改善に努めていきます。ご家庭ではゲームやSNS・動画視聴の適切な利用時間について、お子さんと一緒にルールを決めるなど利用の仕方について話し合い、お子さんの生活の中に上手に取り入れていただけたらと思います。

4年生は磯子区社会福祉協議会と磯子地域ケアプラザ、キャラバンメイト「劇団うめこさん」による「認知症サポーター講座」を実施しました。これから高齢化がすすむ中で認知症のことを理解し、認知症の人にどのような対応をするのが良いのかを、副読本や寸劇を通して分かりやすく説明を受けました。認知症の人の不安な気持ちを感じ取ったり、何に困っているのかを見てとり、助けてあげることが大切で、やさしく言葉をかけたり、手をかしたりする人が町じゅうにいれば認知症になっても安心してくらししていくことができると教えていただきました。これは認知症の方に限らず、学校生活でも言えることだと感じました。いつも地域にお世話になっている学校ですが、今回学んだことを活かし4年生の子どもたちが「認知症サポーター」として地域のお役に立てる存在に成長してほしいです。

10月は前期を終え、後期始まりの月となります。4、5年生の宿泊体験学習や2年生の野毛山動物園遠足など、各学年の校外学習が始まります。学校だけでは体験できない学びを通して、さらに充実した学校生活に活かせるよう安全面に配慮しながら実施してまいります。ご家庭でもお子さんの体調管理をはじめ持ち物の準備等、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。